

評価及び取組報告書

2024年 1月28日

認定 美里・柿の実こども園

学校(園)長 新藤 輝

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

1 取組の紹介

共通メニュー

省資源	省エネ	ごみの減量化
<ul style="list-style-type: none">・裏紙をメモ用紙に使う。・廃材を利用したの造形遊び。・配布物を紙での配布ではなく、アプリでの配信に変える。・収穫物(大根の葉・柿)を無駄なくたくあん漬けに使う。	<ul style="list-style-type: none">・コンセントをこまめに抜く。・消灯確認をする。・太陽光発電・エアコンの設定温度を冷房は28 暖房は20 にしている。・水を撒いて暑さを和らげる。	<ul style="list-style-type: none">・画用紙の切れ端を再利用する・落ち葉・わらを集め、たい肥にする。・プラごみを再利用して遊ぶ。

独自メニュー

<普段は捨ててしまうものに目を向けよう(廃材利用での造形遊び)>

- ・各家庭に声を掛けてペットボトルやトイレットペーパーの芯などの廃材を集め、子ども達と廃材を利用して造形遊びを行った。



- ・子ども達が大切に育てたあさがおの花を使って、色水遊びを行った。

<収穫物を利用して>

- ・夏野菜、落花生、柿、さつまいも、米など旬の食材を収穫し食育に繋げている。



- ・大根の収穫後、洗う際にたわしの代わりに昨年育てたへちまを使用。
たくあん漬けを年長児が行った。その際に園で収穫した果物の皮を再利用していった。



<畑作りに再利用>

- ・にわとりの糞を畑の土に混ぜて肥料にする。
- ・れんげ、菜の花、蕪は子ども達が遊んだ後畑の肥料にする。



<太陽光発電>

園舎の屋上に太陽光パネルを設置し、発電したものを使用している。